

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	～これからの農業を考える～ 松川農業みらい塾
事業主体 (連絡先)	松川町役場 産業観光課 農業振興係
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 イ 農業の振興と農山村づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,128,800 円 (うち支援金 : 903,000 円)

事業内容

自立した農業経営者を育成し、荒廃農地の増加に歯止めをかけるため、松川農業みらい塾を開催する。また、同時に農業経営者同士の交流を図り、横の繋がりを構築した。

①あの人のシゴト論②農業経営論③簿記論の3本柱としたことで、経営基盤の強化及び農業経営に対する気付きを得ることができた。

所得が向上することで、後継者や担い手の増加を促し、荒廃農地の増加に歯止めをかけるきっかけとなった。



【開校式】

【目標・ねらい】

- ①I ターン新規就農者の定着
- ②雇用者の創出と定住促進
- ③先進的な農業経営地域のアピール
- ④農業者同士の交流・情報交換の場
- ⑤荒廃農地の減少

事業効果

- ・新規就農目標人数：2名/年 30年度実績：1名
- ・農業従事者の定住目標：1名/年 30年実績：2名
- ・県外受講者目標：1名 30年実績：0名(町外1名)
- ・受講生主導によるシードルイベントの実施及び販路拡大者2名、Facebookで1期生と講師のグループ作成
- ・農地拡大者1名(0.05ha)

※自己評価【 A 】

【理由】

中長期的な計画であり、成果が得るのはまだ先を想像していたが、当該年度から行動する受講生がいた。

今後の取り組み

5年間継続することで経営基盤が整った経営者を増やし、規模拡大及び雇用創出に繋げる。また、次年度より全国募集に切り替えることで、松川町での取組や新規就農支援に力を入れていることを広くPRし、Iターン新規就農者の獲得に繋げる。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある